

月報アルバム

堂平観測所に移転したペーカーナンカメラ



上は移転完了直後の観測室の全景、移動屋根の左手前にペーカーナンカメラの上半部が姿を見せている。屋上の左のアンテナは時計比較を行なうためのもので、約 50 km を隔てた東京天文台三鷹本部の方に向けられている。右は超長波受信用ループアンテナである。下は 8 km の山道を運ばれてきたカメラの部品をクレーン車で観測室に搬入している風景。左は主鏡セル、右は架台のジンバル部分である。

1968年春季年会記念写真

(東京大学理学部2号館にて、5月29日撮影)



天体発見賞贈呈式



本年度の日本天文学会天体発見賞は、新彗星 1967n の発見に対して池谷薫氏、1968a に対して板垣公一氏に贈呈された。また独立発見者である関勉氏 (1967n)、多胡昭彦氏、佐藤安男氏、本田実氏、藤川繁久氏、山本博文氏 (以上いずれも 1968a) には発見功労賞が贈呈された。

(上) 贈呈式後の記念写真。左から佐藤、池谷、板垣、清水理事長、山本、関、多胡の各氏 (本田、藤川両氏は欠席された)。

(左) 受賞者を代表して挨拶をする池谷薫氏。